

全日本仏教会特別企画
 ～悠久の時にふれる～
 古都・奈良を巡る旅

本会特別企画「古都・奈良を巡る旅」が四月十四日～十五日に開催されました。本ツアーは本会の活動に対し、温かいご支援をいただいている賛助会員の皆さまを対象に、伝統仏教の魅力を再確認いただくことを主旨として、企画されたものです。

【ツアー概要】

特別拝観場所 長谷寺、東大寺、
 薬師寺、唐招提寺

参加人数 二十一名（その他本会
 事務局員二名）

四月十四日（第一日目）

JR奈良駅に集合。専用バスにて総本山長谷寺に登嶺。仁王門からつづく「登り廊」を二九九段の石段を踏みしめながら国宝「観音堂」へと向かい参拝しました。十メートルを超す本尊十一面観音の御足元までご案内いただき、参加者は「長谷の観音振袖着せて 奈良の大仏嬢に取る」と古に歌われたその巨大なお姿に、驚きと共に大きな感動を受けた様子でした。

その後、山内をご案内いただきながら本坊へ移動。大書院にて湯茶のご接待を受け、加藤精一本会会長から、古代から神仏が共に住むという初瀬に因むご法話をいただきました。

四月十五日（第二日目）

タクシーに分乗して東大寺へ移動。国宝大仏殿を参拝、大仏さまのお膝元まで上らせていただき、平岡昇修執事長のご説明をいただきました。巨大な大仏殿と、金仏としては日本一とされたその大きなお姿に、参加者は新たな驚きをもって参拝されました。

東大寺をあとに薬師寺へ移動。境内のレストランにて昼食をいただき、金堂や玄奘三蔵院等の諸堂伽藍を特別拝観しました。また、本坊で薬師寺の村上太胤副住職のご法話を伺いながら、抹茶のご接待をいただきました。

つづいて、唐招提寺を訪問し、国宝の金堂や講堂を拝観。また、鑑真和上招来の仏舍利を祀る礼堂にて、石田智圓本会副会長（唐招提寺管長）のご法話をいただきました。石田副会長の暖かな人柄にふれ参加者は大変に満足そうでした。

ご参加の皆さまからは「古都奈良の魅力を十二分に堪能しました」との感想をいただきました。



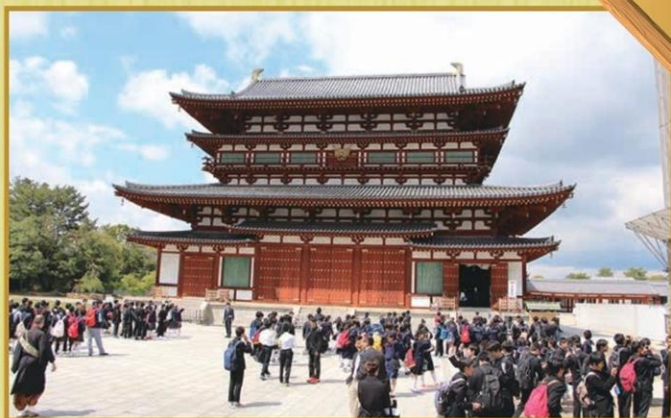
加藤精一会長と記念撮影



鑑真和上請来の仏舍利を祀る礼堂（唐招提寺）



国宝大仏殿（東大寺）



白鳳伽藍の金堂（薬師寺）



399段の石段がつづく登廊（長谷寺）

古都
 奈良を巡る旅
 写真集